



そうだ！
役場の人に
聞いてみ
よう！

かくして一行は、選挙に
ついて学ぶことにー。



誰か知ってる人いないかなあ

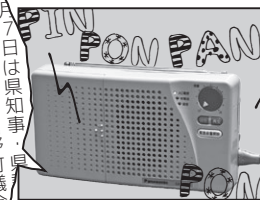
選挙は18歳から
できるんだっけ？



選挙ってどう
して行かないかいけ
ないんだろ？みん
な～、知ってる？

選挙は18歳から
できるんだっけ？
選挙は18歳から
できるんだっけ？
選挙は18歳から
できるんだっけ？

“選挙ってなんなん？
2019年X月X日。青春
を謳歌する高校生たちは
ふと思ったー。



ほのか
(JK課)

まひろ
(JK課)

みさと
(JK課)

まお
(JK課)

かずま
(頼れる同級生)

4月から選挙が目白押し。
もうじき有権者になる5人が学ぶ

私たちの選挙スタディ

選挙について知ってる子も、そうでない子も集合！みんなの一票がよりよい社会づく
り・暮らしに役立てられるとしたら？棄権することなく大切な一票を生かすために、
もうすぐ18歳を迎える高校生と一緒に選挙について楽しく学んじゃおう！



teacher

教えてくれるのはこの人

日野町選挙管理委員会事務局
景山政之 書記

一 限 目

二 限 目

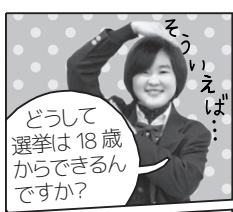
18歳からの選挙権は メリットだらけ!?

選挙権が18歳になったワケ

選挙権が20歳以上から18歳以上に引き下げられたのが2016年のこと。それには以下のような背景やメリットがあったからなのです。

- ①若年層の政治への関心のきっかけづくり
- ②若年層の意見の反映
- ③世界の約9割の国の選挙権年齢が18歳以上であること

ただ、「18歳に政治的な判断はできるのか？」という心配もあります。そこは、選挙で政策を若年層向けにわかりやすく示す、学校などで政治や選挙に関する授業を積極的に行っていく必要があるといえます。



どうして
選挙は18歳
からできるん
ですか？



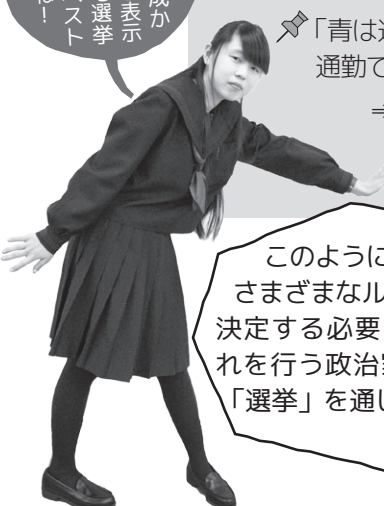
いきなり選挙と言われても、ちょっと不安かも。

じゃあ、その理由を
次で解説していくよ。

そうか！賛成か
反対か、意思表示
するために選挙
に行くのがベスト
なんですね！

知ってた？政治と生活の密接な関係

- ✦ 学校の教育目標や教科、1クラスの生徒数、教員数など
- ✦ 商品などにかかる消費税率
- ✦ 「青は進んで、赤は止まれ」。通学・通勤で守っている交通ルール
- ⇒ こうした法律を作ったり改正したりするのが政治家の仕事



このように、世の中の
さまざまなルールをつくり、
決定する必要があるよね？これ
を行う政治家を、みんなが
「選挙」を通じて選んだ！



私たちの代わりに、自分の思いや考えを表現してくれ
る人たちを選ぶ、それが「選挙」です。

選挙はくらしと深い関係が

えへん

投票率の低下が続くとこんなことに...

若者の意見が代弁する候補者が当選しない

若者の意見が政治に反映されない

若者の投票率の低下

政治への無関心

教育や就職、子育てなどどれも私たちに関係のあるものばかり。興味のあるものから少しずつでも関心を持つことが大事なんですね!

データでみる鳥取県の投票率

有権者の何割が選挙に行ったかを示す投票率は、年々減少傾向にあります。平成28年に行われた参議院選挙のデータでみると、

▼鳥取県の投票率は56.28%
(※平成元年：78.71%)

▼年齢別投票率(一部抜粋)

70～74歳：75.27%
65～69歳：76.46%
60～64歳：74.03%
25～29歳：45.25%
20～24歳：34.23%
18～19歳：42.96%

若年層の投票率が低いことが分かります。

三 限 目

じゃあ、若い人って選挙に行ってるの？



Q 投票所に一番乗りした人だけできることは？



何かもらえるんじゃない？粗品とか...

A 投票箱の中を見ることができる

投票所に一番乗りをすると、投票箱を覗いて「投票箱に何も入っていないことの確認」に立ち会うことができます。公正な選挙を行うための仕組みの一つといえます。

Q 投票用紙は何の材料でできてる？



①プラスチック ②紙 ③竹 どれだと思う？



A プラスチック

開票しやすいよう折り曲げても自然に開くようになっています。

四 限 目

コレを知れば、投票がもっと楽しくなる♪

正確な選挙を行うための仕組み

選挙日当日には、いよいよ「投票」が待っています。私たちが自分の一票を無駄にせず、選挙が正確に行われるために、投票区や投票所、投票時間、入場券、投票の仕方など投票しやすいよう考えられています。



日野町の投票所は9カ所と決められていて、それぞれ投票できる時間なども違うんだ！詳しくは、次ページを見てね。ここでは、投票にまつわるちょっとしたクイズを出すよ！

五 限 目

自分で考え行動すれば社会も変わる

一人一人がいて社会がある。主権者の一人として、まずは自分の生活を見ることから始めてみませんか。

現代に求められる主権者像とは

今とこれからの社会をつくっていくためには、さまざまな課題や問題を自分のこととしてとらえ、自ら考え、自ら判断し、行動していかなければなりません。そのためには、日ごろから地域行事などに参加したり、ニュースなどから情報収集したりして、自分の考えをまとめ、自分の生活と政治とのつながりを知ることが大切です。



自分の現在や将来が政治とつながってるんだ！だから主権者として選挙などを通じて政治に参加することが大事なんですね。



私も主役！

あなたも主役♪